

2026年、東京から 「ワンヘルス」が動き出す

「ワンヘルス（One Health）」とは、
ヒトの健康・動物の健康・環境の健全性は密接に関連して
おり、これらを一つ（One）のものとして捉え、一体的に
守っていかうという考え方です。

ヒトの健康

環境の保全

動物の健康

次なる感染症危機への備えの観点からも、人・動物・環境の健康が相互に関わるワンヘルスの理念はますます重要になっています。

なぜ今、ワンヘルスなのか？

東京都は、約1,400万人が暮らし、都市機能が高度に集積している大都市です。そのため、感染症のまん延リスクが顕在化しやすいという特徴があります。

一方、多摩や島しょには豊富な自然があり、野生動物も生息しています。こうした自然環境や生物多様性の保全も重要です。



人獣共通感染症（ズーノーシス）の増加

エボラ出血熱・SARS・新型インフルエンザ・COVID-19など、新興感染症の約60～70%は動物由来とされています。野生動物の生息域と人間活動が交差することで、新たな感染症が生まれるリスクが高まっています。



薬剤耐性（AMR）の深刻化

抗菌薬はヒト医療だけでなく、畜産・水産業でも広く使用されています。動物・環境・ヒトにまたがる薬剤耐性菌の拡大を抑えるためには、各分野が連携した対策が不可欠です。



環境破壊と生態系の変化

森林破壊・気候変動・生物多様性の喪失は、感染症の発生リスクを高めるだけでなく、食料安全保障や水・大気の質にも影響を与えます。



食の安全への脅威

食肉・乳製品・水産物を通じた病原体・農薬・化学物質の汚染は、動物の健康管理と環境保全なしには解決できません。

Tokyo, One Health in Action

「東京都は「Tokyo, One Health in Action」をキーワードに、医療、獣医療、公衆衛生、環境など様々な分野の関係者ととともに、ワンヘルスの理念の発信・啓発を力強く進めていきます。」 東京都知事 小池百合子

令和14年～（予定）

新たな動物愛護相談センターにおける 情報発信

- ・どうぶつ資料室、多目的ホールの活用



令和8年～（予定）

メタバーズ空間による体験型コンテンツ公開

- ・感染症予防、ペット防災（同行避難）などを疑似体験



令和8年4月

ワンヘルス推進ポータルサイトの開設

- ・ワンヘルスの理念、東京都の取組を紹介

Tokyo's Action 1

ヒトの健康

人獣共通感染症対策や薬剤耐性対策など、疾患の早期発見、予防、治療体制の強化に取り組んでいます。

人獣共通感染症対策

東京iCDC 感染症対策を支える専門家ネットワーク

東京iCDCでは、ワンヘルス・アプローチ推進タスクフォースを設置し、エムポックス等注意すべき人獣共通感染症に関し、国内外の最新の情報や知見に基づき、都の対応へ助言を行っています。

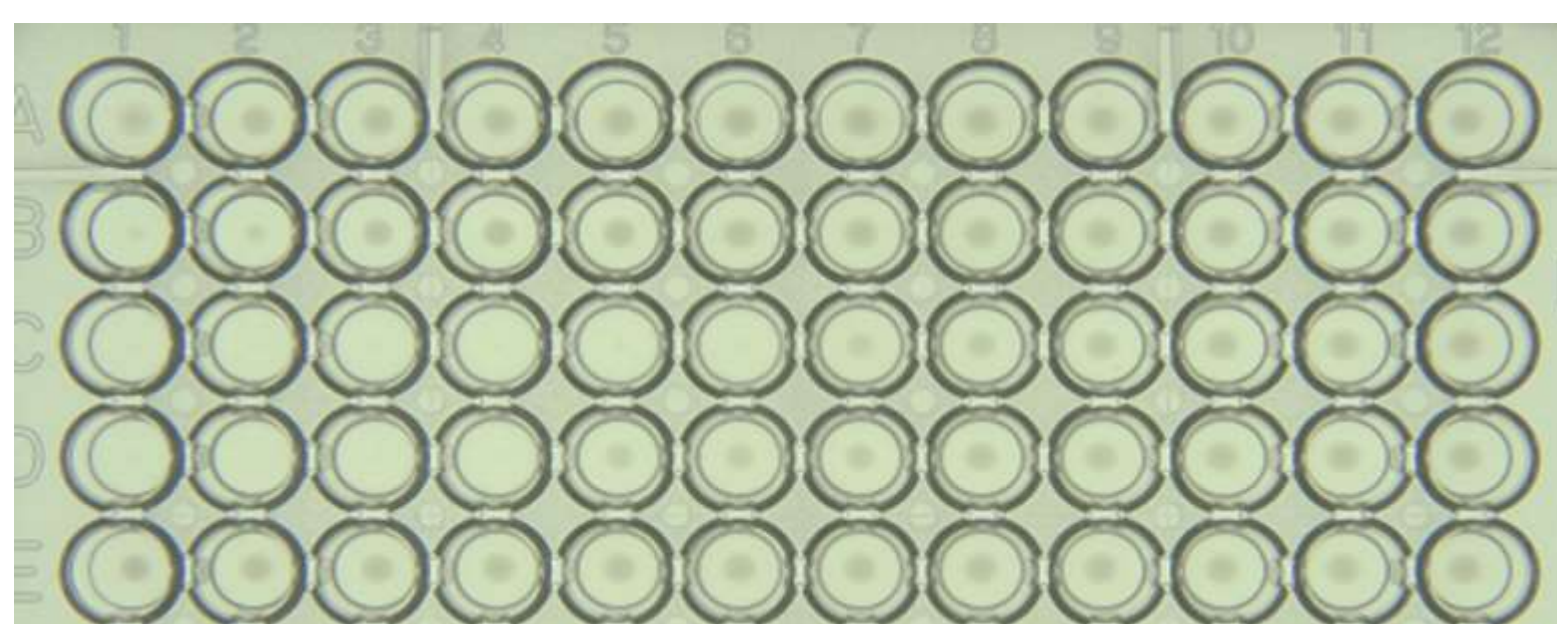


東京iCDCは、感染症に関わる様々な領域において、調査・分析、情報収集・発信などを行う専門家のネットワークです。

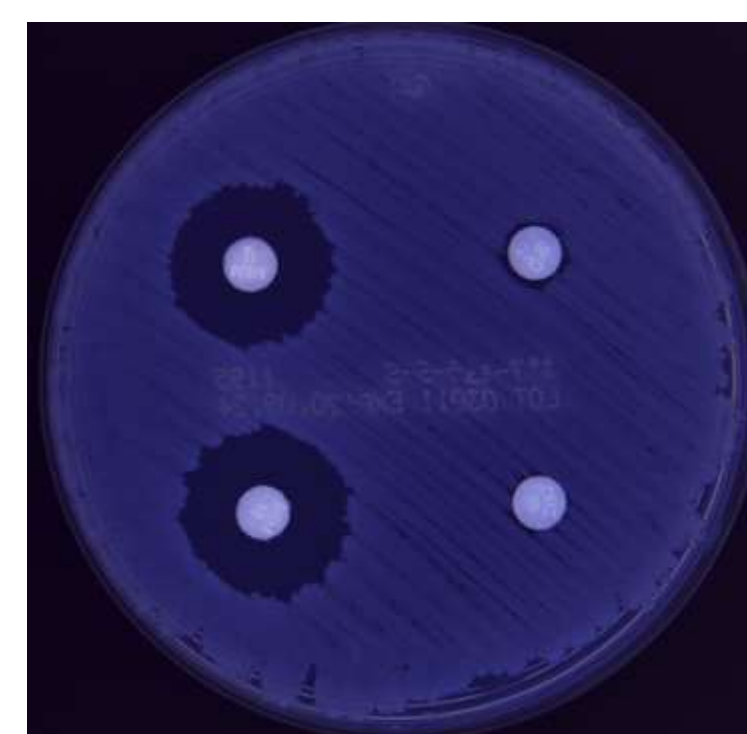
ヒトの薬剤耐性 (AMR)

薬剤耐性菌の解析の推進

東京都健康安全研究センターでは、国内外で流行する薬剤耐性菌と都内で検出された薬剤耐性菌の比較解析を行い、薬剤耐性菌の実態把握および分子疫学的解析を行っています。



微量液体希釈法



ディスク拡散法

Tokyo's Action 2

動物の健康

動物の保護のほか、動物の疾病サーベイランスを強化し、感染症の早期把握・まん延防止に努めています。

動物愛護相談センター

都における動物行政の拠点

動物愛護相談センターでは、飼い主不明の放浪犬や負傷した犬・猫等の収容・治療等を行っています。また、都民に対し、犬・猫等を譲渡しています。更に、ペットショップ等に対し、動物の適正飼養に関して、指導等を行っています。



家禽に関する鳥インフルエンザ対策

早期発見・発生予防の徹底

都では、養鶏場に対して、鳥インフルエンザ等の早期発見のためのモニタリング検査を実施するとともに、発生予防のため、飼養や衛生管理等について指導等を行っています。また、防疫演習や防疫資材の備蓄等により、万が一の発生に備える取組を行っています。



Tokyo's Action 3

環境の保全

ニホンジカの個体数管理や森林再生、大気・水環境の保全などを通じて、多様な生きものの生育環境を守っています。

ニホンジカの管理及び被害防除

モニタリングや被害防除対策の推進

ニホンジカの増加による生態系や農林業への被害軽減を目的に、市町村や猟友会等と連携しながら、捕獲、モニタリング調査、植生保護柵の設置・管理を行っています。



多摩の森林再生

森林機能の回復・向上に向けて

多摩地域の人工林を対象に、間伐等を行うことで、多様な生きものの生育環境を保全するとともに、水源かん養機能など、森林の持つ公益的機能の回復・向上を図っています



大気・水環境の保全

大気・水環境に係る調査の徹底

健康で快適な生活環境を確保するため、都内に設置した82か所で大気汚染物質を常時監視するとともに、工場・事業場に規制・指導しています。

水環境については、河川、湖沼及び海域における水質測定調査等を実施しています。

